

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年4月1日

事業所名 はばたき学園笠間

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		プレイルームと多目的室を分離している	
	2 職員の配置数は適切である	○		曜日によって、職員を多めに配置している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差等利用者に応じて安全性を確認している	2F階段が急なため、職員全員で利用者が上がらないように注視している
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		PDCAサイクルを心掛け、活動前後で職員ミーティングを実施している	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向け評価表を活用し、保護者の意向の把握に努めている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後は必要に応じて実施を検討している
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		施設内研修を実施している		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者等と話し合い、支援計画を作成している	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		施設独自のアセスメントツールを使用している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングにおいて、支援の仕方や活動の進め方を立案している	職員一人ひとりが忌憚ない意見を言えるように配慮している
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や達成度合いに合わせて変化させている	利用者によって好みもあるが、季節や達成度合いに応じて変化させている
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		余暇、ソーシャルスキルを考慮している	特に長期休暇の支援については休暇前の数回のミーティングで決めている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別の目標に沿った計画を作成している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日ミーティングにて確認している	学校送迎前に、1時間の職員ミーティングを毎日してる。プログラムの流れ、支援方法については詳細に打合せしている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日のミーティングにて共有している	送迎後は時間外のため、翌日になってしまっている。今後改善予定
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎日、記録するとともに支援の検証・改善について話し合っている
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1度の見直しをしている	出来れば3,4ヶ月に1度の見直しをしていきたい
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			成功体験や自己肯定を高め、友達と関わったり、表現する喜びを体験させていきたい

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		特別支援学校から行事予定表をいただくとともに、保護者からも情報をとっている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	今のところ、受け入れは考えていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	今まで出来ていなかったので、今後は進めていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	今まで出来ていなかったので、今後は進めていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	今まで出来ていなかったので、今後は進めていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	以前は交流があったが、その人が退職してからはストップしてしまっている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		笠間市のメンバーであり、積極的に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に伝えているが、職員によって温度差があるため、今後は更なる研修をしていく
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	まだまだ十分とは言えないため、今後は職員にも研修を受けさせる
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		保護者にわかり易く説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		職員によって温度差はあるが、更なる勉強会を開催していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	昨年は開催出来なかったため、今後は開催していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		管理者が直に保護者のところに出向き、謝罪し職員全員に周知徹底している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月「はばたき便り」を配布している
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の書類は鍵付きキャビネットに保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者・保護者に合わせている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域住民との交流が出来ていないため、今後は地域の中の事業所として開かれた事業運営に努める

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		感染症等についての説明のみ強いため、その他についてもマニュアル等を説明していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		マニュアルに基づき、年1回実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部の研修に参加し、参加した職員がフィードバックしている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、対象児童はいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事提供はないが、おやつ等はあるため、アレルギーがあれば活動には取り入れない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員間で共有している